

# 第3章 整備計画

## 1 4つのプロジェクト

「整備計画」では地区の将来像を実現するため、整備方針で位置づけた8つの「アクションプラン」を踏まえ4つの「プロジェクト」について具体的な内容や整備スケジュールを設定します。

【地区の将来像】

多様な歴史と新しい文化が交流し、共鳴しながら創造するまち  
誰もが住み続けられる安全で安心なまち 祐天寺

### 整備構想

- 【目標1】  
個性あふれる店舗の集積による活力があり、同時に安全で暮らしやすい住環境が確保された街
- 【目標2】  
安全で快適に移動できる街
- 【目標3】  
地域資源を活用した歩いて楽しめる街
- 【目標4】  
豊かな地域コミュニティに育まれる街

### 整備方針

- 【整備の方針1】  
歴史と新しい文化が感じられる賑わいと個性あふれる商業地の形成  
【アクションプラン1】  
【アクションプラン2】
- 【整備の方針2】  
みどり豊かで居心地良く安全・安心な住環境の形成  
【アクションプラン3】  
【アクションプラン4】
- 【整備の方針3】  
駅前広場を中心とした安全で快適な歩行者優先の交通環境の形成  
【アクションプラン5】  
【アクションプラン6】  
【アクションプラン7】
- 【整備の方針4】  
住民主体のまちづくりの展開  
【アクションプラン8】

### 整備計画

- 【プロジェクト1】  
居心地が良く安全で歩きたくなる街  
①祐天寺駅前ロータリーを居心地の良い広場にする  
②祐天寺駅通りを安全で快適に歩ける道路にする  
③祐天寺駅前広場を起点とした歩いて楽しめる街にする  
④安全に移動できる街にする
- 【プロジェクト2】  
災害に強い街の形成  
①木造住宅密集地を改善する  
②防災・減災の取組を進める  
③防犯の取組を進める
- 【プロジェクト3】  
みどり豊かでゆとりある住環境の形成  
①みどりの保全・創出・利活用を推進する
- 【プロジェクト4】  
住民主体のまちづくりの展開  
①地域を支えるプラットフォームを構築する

## 2 整備計画

### 【プロジェクト1】

### 居心地が良く安全で歩きたくなる街

本地区は、祐天寺駅を中心に、明顕山祐天寺や庚申塔群などの歴史的資源や坂道、日常生活を支える商店、鋭敏な感性が感じられるカフェ・雑貨店・古着屋など、歴史と新しい文化が感じられる街を形成しています。

駅前に路線バスが乗り入れ、公共交通の利便性が高い一方、駅前広場や祐天寺駅通り（バス通り）などは、歩行者・自動車・自転車交通が錯綜するなど、住民と来訪者が安心して通行できない箇所も見られます。

そのため、誰もが居心地が良く安心して快適に歩けるよう、駅前広場を起点とした歩行者優先の空間形成を進めるとともに、本地区の歴史・文化資源や新たな祐天寺らしさを感じる場所、周辺の魅力的な資源等を散策したくなる環境を整備し、地区を活性化し、賑わいを創出します。

### プロジェクトの内容

- ① 祐天寺駅前ロータリーを居心地が良い広場にする
- ② 祐天寺駅通りを安全で快適に歩ける道路にする
- ③ 祐天寺駅前広場を起点とした歩いて楽しめる街にする
- ④ 安全に移動できる街にする



- ① 祐天寺駅前ロータリーを居心地が良い広場にする



- ② 祐天寺駅通りを安全で快適に歩ける道路にする



- ③ 祐天寺駅前広場を起点とした歩いて楽しめる街にする

- ④ 安全に移動できる街にする



本計画を総合的に推進する  
都市再生整備計画事業区域（予定）



主にプロジェクト1を推進する  
まちなかウォークアブル推進事業  
区域（予定）



### 実現に向けた取組

各プロジェクトの実現にあたっては、進捗の段階に応じて交通管理者や交通事業者と協議を重ね、地域住民と意見交換を行い、ご理解ご協力を得ながら進めていきます。

国は、まちなかを車中心からひと中心の空間へと転換・先導し、人々が集い、憩い、多様な活動を行うことができる「居心地が良く歩きたくなるまちなかの創出」に向けて、都市再生整備計画事業を拡充して「まちなかウォークアブル推進事業」を創設しました。本地区では、この補助事業を活用しながら取り組みます。（参考資料p.57参照）

## ① 祐天寺駅前ロータリーを居心地が良い広場にする

祐天寺駅は、昭和2年の東横線開業時に新設され、昭和5年の東京「細道路網計画」等の影響により駅前ロータリー（道路）が形成されました。その後、昭和35年ごろに整備され、噴水や緑地の改修が行われ、現在に至ります。

駅前広場は、東西に走るバス通り（祐天寺駅通り、主要生活道路）の中間地点に位置し、日常的に自動車交通量が多く、交通結節点として利便性が高い場所です。平成30年に駅舎が改修され、歩行者動線などが大きく変化しました。



今後、駅前ロータリーの空間構成を再検討し、中央にある緑地を再配置して居心地の良い広い歩道に有効活用するなど、安全で快適に歩行できる空間を創出していきます。

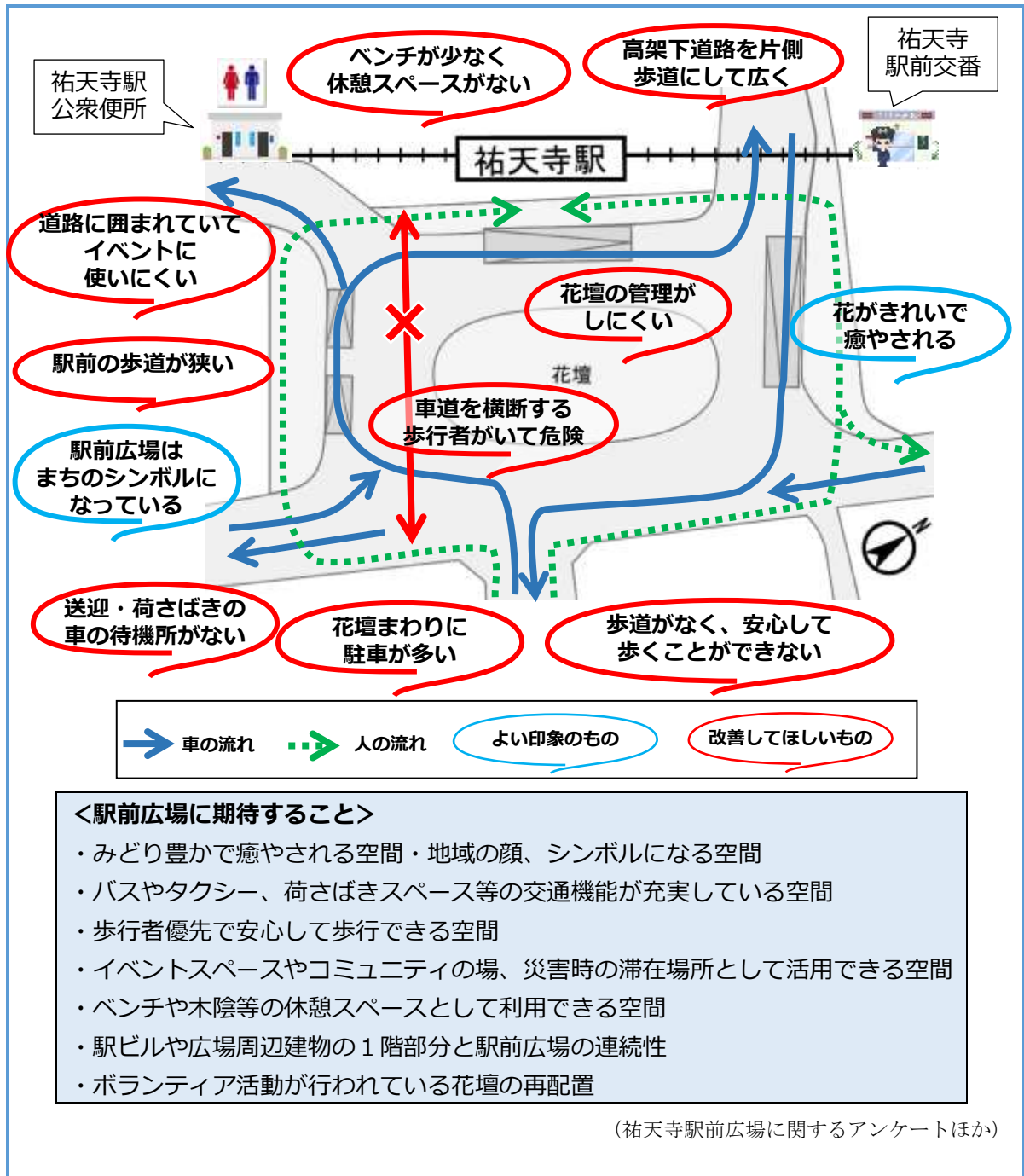
### 【祐天寺駅前広場の課題】

- ・ 駅前に路線バスが乗り入れ、公共交通の利便性が高い一方、路上駐車・駐輪が多い。
- ・ バスがすれ違う祐天寺駅通りも含めて交通が錯綜し、駅高架下道路の歩道も狭く、歩行者が安心して通行できない。
- ・ 平成30年度までに駅舎や駅ビルが建て替わり歩行者動線が変化している。
- ・ 駅前の空間構成は昭和30年代から変わらず、中央の緑地は一般利用しにくい。
- ・ 駅前広場の再整備と活用及び駅周辺の安全な歩行空間の確保について、多くの要望を受けている（街づくり懇談会、パブリックコメント、アンケート調査等）。

### 【居心地の良い広場整備の方向性】

- 1 車両の円滑な通行や、歩行者優先の安心して歩行できる空間など、駅高架下道路も含め駅前広場に必要な交通機能を確保します。
- 2 限られた空間の中で、バス停など交通結節点として必要なアクセス機能を確保します。
- 3 駅前広場を最大限活用し、中央の緑地（花壇）を再配置して、イベントスペースやコミュニティの場、まち歩きのご案内、災害時の滞在場所としても活用できる環境空間を確保します。
- 4 環境空間の創出にあたって、以下の内容を検討します。
  - ・ みどり豊かで癒やされる、地域の顔、シンボルになる空間、ベンチや木陰等の休憩スペースとして利用できる空間づくりに取り組みます。
  - ・ 駅ビルや広場周辺建物の1階部分と駅前広場の一体化・連続性を図ります。
  - ・ 駅前交番の分かりにくさ、駅前トイレ環境、喫煙環境の改善に取り組みます。

＜駅前広場の現状についての区民の方からの意見まとめ＞



＜区民意見の聴取及び関連調査＞、＜交通量調査の結果＞、＜祐天寺駅前広場に関するアンケート＞、＜祐天寺ロータリーを考える会の提案＞、＜ほかの駅前広場の事例＞については参考資料p.58～p.61参照

Q.駅前広場の再整備は、どのように検討していきますか？

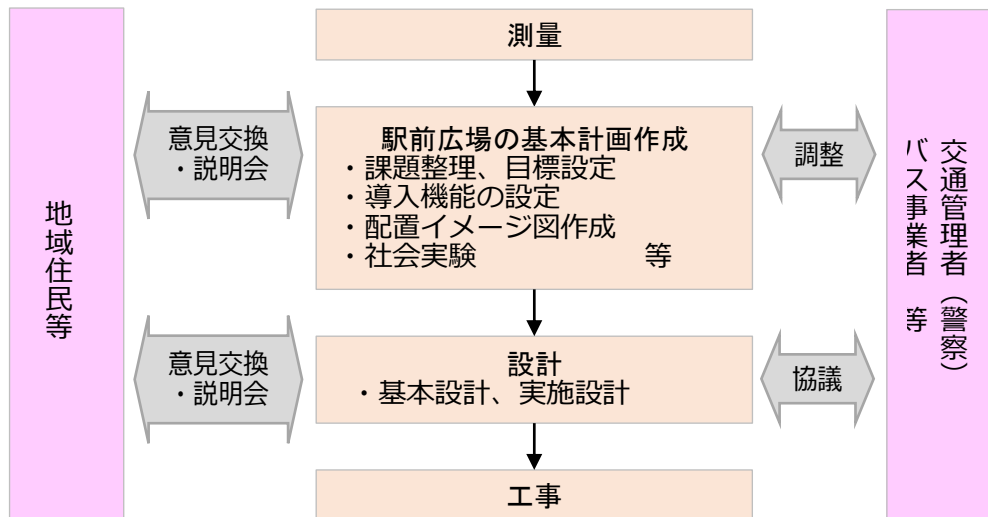
A.区民の方々の意見をお聞きし、関係機関との協議や社会実験を行いながら進めていきますのでご協力をお願いします。

具体的な計画づくりは、その都度、地域の方々と意見交換する場を設け、地域や区民の皆様のご理解をいただきながら取り組みます。

交通管理者やバス事業者等との詳細な協議や社会実験を行いながら、駅前広場の計画や整備を進めます。

### <駅前広場再整備に関する検討の進め方>

【区】



## ② 祐天寺駅通りを安全で快適に歩ける道路にする

祐天寺駅通りでは年間数件の負傷事故が発生しています。これまで、懇談会・アンケート調査・説明会・パブリックコメントで「バスと歩行者等の接触による事故の危険性があり、安心して歩けず買い物がしにくい。」との意見が数多く出されています。

祐天寺駅通り（祐天寺駅～駒沢通り交差点）を安全で快適に歩くことができるよう、関係住民等と協議しながら、実現に向けて取り組みます。

（祐天寺駅通りの事故状況・交通規制は参考資料p.62参照）



安全な歩行空間の確保が求められている祐天寺駅通り

### 【祐天寺駅通りの交通の課題】

	課題
バス	路側帯（白線）を通行しないとバス同士のすれ違いはできない
自動車	自動車同士が車道内でぎりぎりすれ違うことができる
歩行者	二人が並んで歩くと、路側帯から車道部へはみ出す（右図①）
自転車	路側帯に自転車を止められると、歩行者の通行の妨げになる（右図②）
共通	置き看板や商品、荷さばきの車両が交通の妨げになる



**Q.歩道を整備して、安全な歩行者環境を確保できないか？**

**A.現在の道路幅員で、歩道整備による歩車分離は困難です。**

バリアフリー法や東京都福祉のまちづくり条例等で、歩道幅員は2m以上の確保が求められています。

2mは、車いす使用者同士が歩道上ですれ違うことが可能な幅員であり、ガードレール等を設置する場合には更に0.5mが必要で、歩道幅員が2.5m以上となります。

道路幅員が約7mの祐天寺駅通りに片側でも歩道を設置すると、バスのすれ違いができなくなります。

### 【祐天寺駅通りの交通環境改善への取組】

施策	施策の内容
【その1】 バス交通の検討	バス相互の同時走行の回避やバスの小型化など
【その2】 地域街づくりルールによる沿道建物の建替えに合わせた歩行空間の確保	地域街づくりルール（沿道建物の壁面後退）による歩行空間の確保 関係住民の協力による建物の建替えに合わせた歩行空間の確保
【その3】 無電柱化の具体化	地域街づくり条例を活用した無電柱化に向けた検討

## その1 バス交通の検討

### <バスの同時走行の回避の方策>

祐天寺駅通りの幅員は約7mのため、バスがすれ違う場合は、歩行者と接触する危険性があります。祐天寺駅と駒沢通り交差点（信号：目黒税務署前）間で、バス相互の同時走行の回避策を検討します。

### <バスの小型化などの検討>

祐天寺駅通りは、バス同士がすれ違う際の歩行者の安全はバスを小型化すると、車幅の分だけ改善されます。

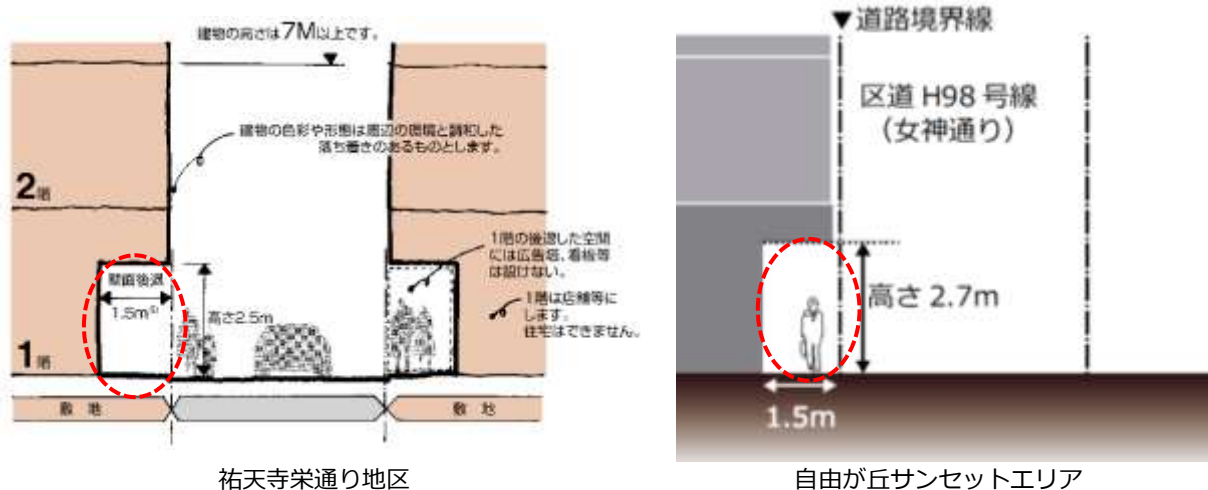
バスを中型車両から小型車両に変更するとバス定員は、60人から35人と減少します。このことでバスの運行回数が増え、運行コストが大きく増大し、地域や利用者の負担が課題となるため慎重に検討していきます。

## その2 地域街づくりルールによる沿道建物の建替えに合わせた歩行空間の確保

祐天寺駅通りの交通環境を既存の道路だけで改善することは困難です。祐天寺栄通り地区や自由が丘サンセットエリアでは、地区計画を活用し、沿道建物の壁面後退により1.5mの歩行空間の確保を進めています。

本地区も、これらの事例を参考に、地域街づくり条例を活用し、関係住民（土地・建物所有者及び借地権者等）と、地区計画等の地域街づくりルールによる歩行空間の確保を検討していきます。

### 道路境界沿いにおける民有地内での歩行空間の確保の例



### その3 無電柱化の具体化

区は、これまで約4.6kmの道路の無電柱化を行い、令和2年8月には「目黒区無電柱化推進計画」を策定しました。無電柱化の一般的な方式である電線共同溝方式は、地上機器（幅110cm×高さ145cm×奥行45cm）を設置する場所が必要で、原則として2.5m以上の歩道又は沿道敷地に地上機器を設置します。

歩道整備が困難な祐天寺駅通りでは、例えば、関係住民にご協力頂き、民有地を活用した地上機器の設置や、街路灯の柱上への設置（ソフト地中化）などが考えられます。

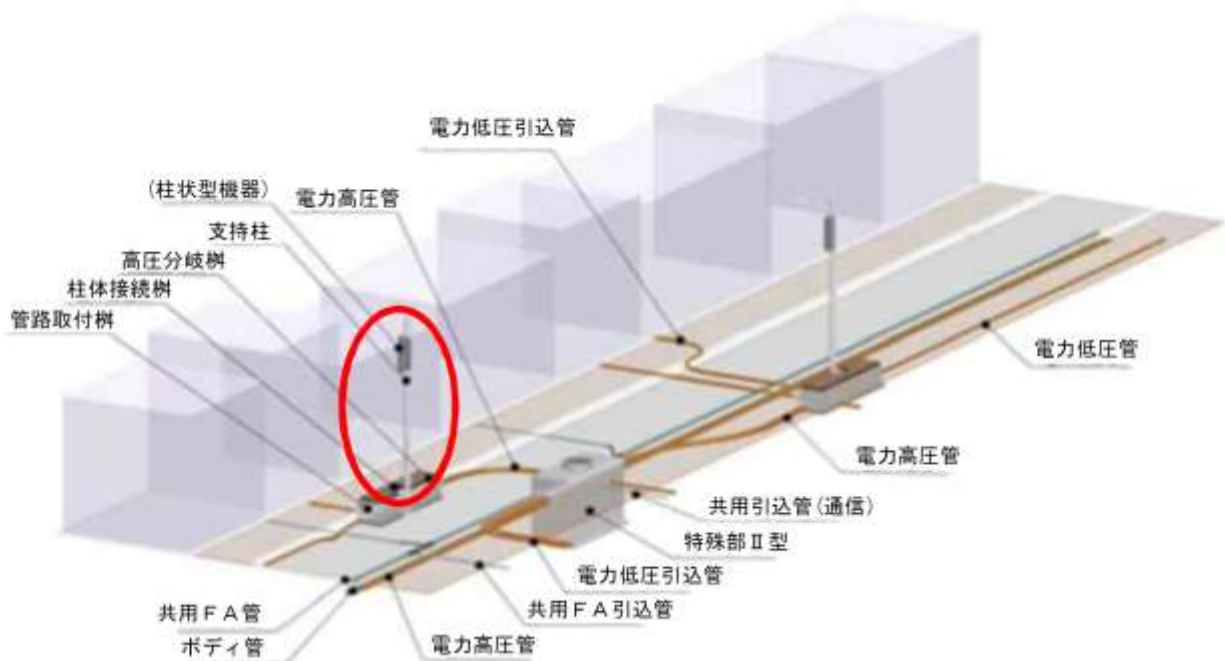
今後、祐天寺駅通りは、地域街づくり条例を活用して、地域で話し合い、無電柱化推進計画に基づく優先整備路線として位置づけられるよう検討します。

#### 地上機器の設置例



目黒区無電柱化推進計画（令和2年8月）

#### 電線共同溝方式（ソフト地中化）による無電柱化のイメージ



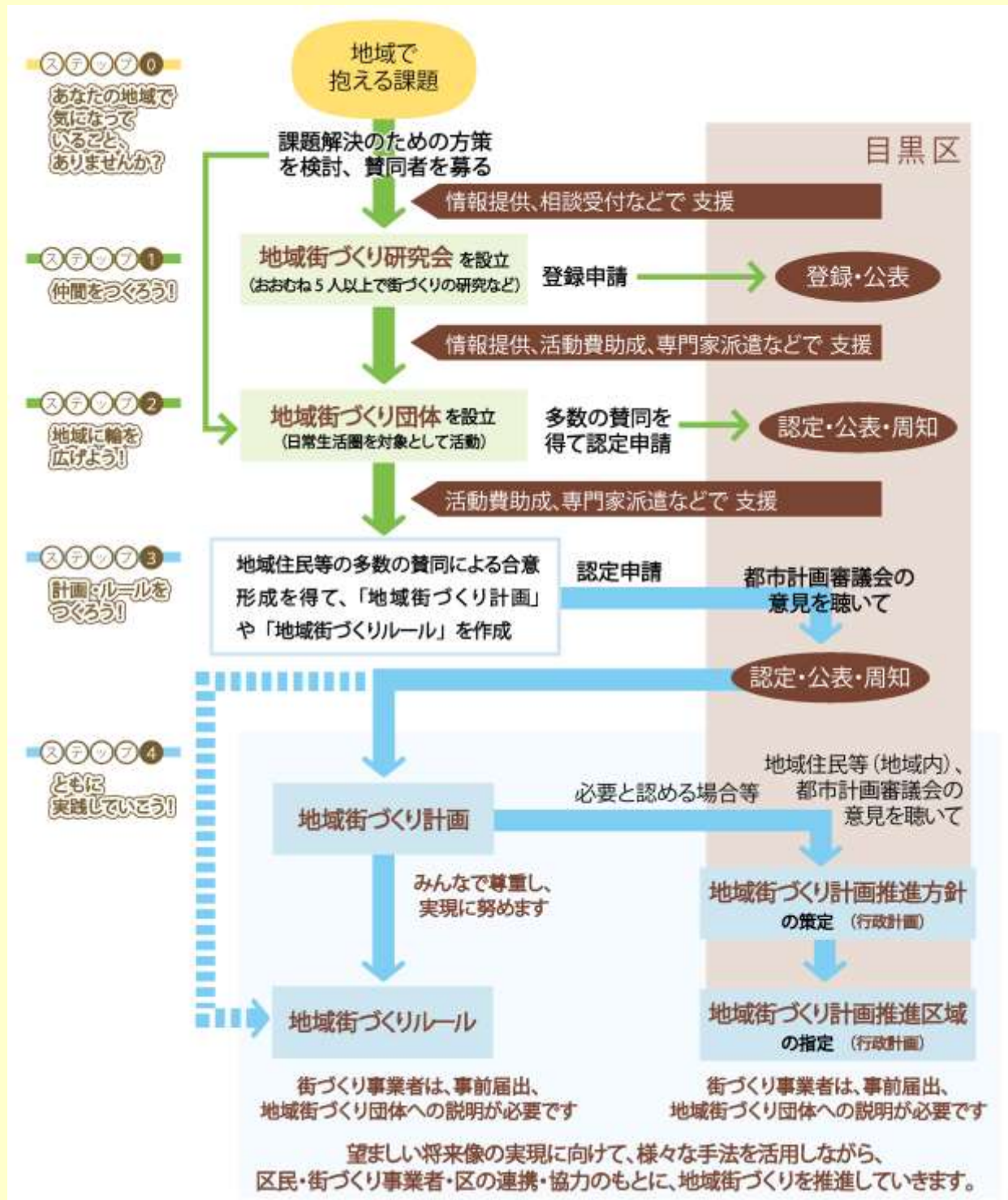
目黒区無電柱化推進計画（令和2年8月）



Q.地域主体でのまちづくりは、どのように進めたらよいですか？

A目黒区地域街づくり条例を活用しながら、同じ問題意識を持つ地域の方たちと一緒に、取り組んで  
 いただきたいと思います。

<地域街づくり条例の流れ>



### ③ 祐天寺駅前広場を起点とした歩いて楽しめる街にする

コロナ渦の中、リモートワークなど在宅する人が増えています。

祐天寺駅前広場を起点として、例えば、心身の健康と地域の活性化に資するよう、明顕山祐天寺などの歴史的資源や個性ある商店街でのランチも楽しめるコースなど、歴史と新しい祐天寺を巡るまち歩きを進めていきます

施策	施策の内容
【その1】 まち歩きルートの設定	祐天寺駅前広場を起点とした地域の歴史的資源や新しい魅力を伝えるまち歩きルートの設定
【その2】 PR・広報・イベント等の情報発信	まち歩きパンフレット・案内サイン等でのルートのPR活動 まち歩きルートに関連したイベントの実施・発信 多様な組織、世代の連携・活力をいかす
【その3】 商店街を中心とした街並み景観の向上	商店街の街並み景観形成
【その4】 ルート上の施設整備	ベンチなどルート上の休憩施設の整備とバリアフリー化

#### その1 まち歩きルートの設定

「目黒区みどりの散歩道」では、「区役所・美術館コース」で祐天寺駅から駒沢通り、明顕山祐天寺付近がコースに設定され、「東山貝塚・蛇崩川コース」で本地区の北側蛇崩川緑道一部がコースに設定されています。また、「目黒区交通バリアフリー推進基本構想」では、祐天寺駅周辺にバリアフリー化を図る主要経路が設定されています。

「目黒区みどりの散歩道」や「目黒区交通バリアフリー推進基本構想」を考慮して、祐天寺駅を起点として、祐天寺駅通りやみよし通り、地域の歴史的資源など魅力を伝えるまち歩きルートを地域住民と意見交換をしながら設定していきます。



緑点線は「みどりの散歩道」、朱点線は「目黒区バリアフリー推進基本構想」の主要経路を表示しています。  
中目黒駅や学芸大学駅とのつながりを考慮して、ルートを検討していきます。

## Q.まち歩きルートは、どのように決めるのでしょうか？

### A.地域の皆様と区で意見交換しながら、決めていきます。

公共施設や史跡等の情報は区も把握していますが、地域の皆様に愛着を持っていただけるよう地域の魅力となる資源は「地区に住み、また働いている方々が大切にしているもの」を積極的に活用・発信していきたいと考えています。地区の皆様や区等で意見交換を行いながら決めていきます。

#### 【進め方の一例】

- ① <意見交換> まち歩きルートの設定やベンチ設置等の環境整備の必要性について
- ② <地区の宝探し> 参加者を募って本地区の地域資源を点検し、これらの資源をつなぐルートの検討
- ③ <ルート歩いて意見交換> 休憩スペースやサイン設置等の場所、バリアフリー化などについて
- ④ <パンフレットの作成と施設整備> まち歩きパンフレットを作成、案内サインや休憩スペース等を設置
- ⑤ <イベントの開催> まち歩きルートを中心にイベントを開催
- ⑥ <沿道の景観検討> 地域の皆様等が主体となり商店街・住宅地の街並み景観について検討

## その2 PR・広報・イベント等の情報発信

祐天寺駅前や公共施設等にまち歩きルートを含む案内マップやパンフレットを設置、来訪者のみならず地域住民にも発見があるような情報を駅ビルに掲示、区や関係機関等の公式ホームページにも掲載するなど、地域の魅力を積極的にPRする取組を進めます。

また、祐天寺駅前広場で、公衆無線LAN「Meguro Free Wi-Fi」が設置されています。今後、QRコードによる案内マップへの誘導など地域情報の発信について、住民と連携して取組を進めていきます。

これらPR・広報活動とあわせて、本地区を歩く多くの住民や来訪者が楽しめ、季節ごとに開催されているイベントを紹介します。（明顕山祐天寺み魂まつり・子ども盆踊り大会（7月）や祐天寺駅前広場内クリスマスコンサート（12月）など）

また、賑わいの向上のため、様々な組織、世代が連携した取組などを推進します。

### みどりの散歩道のパンフレットと案内板



自由が丘駅前に設置している案内板

### 案内マップや案内板などに関する区民意見

- ・地域のディープな情報（食、芸術、歴史、生活施設など）を絵地図にして駅ビルの見やすい場所に掲示したらどうか。
- ・まち歩きマップにゲームスポットなどを描き入れて新しい街並みの魅力を増やしたらどうか。
- ・指定者（国、都、区など）の違いにかかわらず、地区にある文化財を駅前で一目で確認できるものを設置したらどうか。

## 本地区の歴史的資源等

### 【明顕山祐天寺】

寺社、累塚（かさねづか）、火消し・まとい など



（明顕山祐天寺）



（累塚）

### 【その他】

庚申塔群、葦毛塚 など



（五本木庚申塔群）



（葦毛塚）

## 明顕山祐天寺と江戸の火消し

開祖の祐天上人は火災予防にことのほか心を砕き、増上寺の大僧正の時代には、江戸町火消しのルーツともいわれている「いろは47文字」の自衛消防隊を組織しました。本堂の奉納額や地蔵堂の格天井、賽銭箱など寺内のあちこちに江戸町火消しのシンボル「まとい」の彫り込みがみられます。

## その3 商店街を中心とした街並み景観の向上

街並み景観では、2つの視点から関係住民へ働きかけます。

駅前広場周辺	駅ビル等駅前広場に面した建物の1階をガラスで可視化するなど、駅前広場との連続性を図る。
商店街沿道等	沿道の関係住民等が主体となり、つくっていききたい魅力的な沿道景観について検討を行い、景観形成ルール（地区計画等）を定め、魅力的な店舗デザインや案内サイン整備の検討を行う。

## 街並み景観のヒント!

近年古民家等を改修して出店した店舗のコンセプトやデザインを参考に、変わりつつある街並みに調和した景観形成ルールづくりを行っていきましょう。



## その4 ルート上の施設整備

まち歩きルート上の公共施設や商業施設にベンチ等の休憩施設を設置するなど、まちを歩きたくなる環境づくりを進めます。

また、ルート上の段差の有無等について点検を行い、バリアフリー化について検証します。

### 駅前広場のベンチ



自由が丘駅の駅前広場

#### ④ 安全に移動できる街にする

誰もが安全に移動できる環境の実現のため、バリアフリー化、主要生活道路・主要区画道路の体系的な整備や自転車の利用マナーの向上等を推進します。

まち歩きの実践強化や新しい日常への対応による自転車の利用増加を見込み、区で取組を進めている自転車ナビマークの整備や自転車シェアリングのサイクルポートの適地を確保していきます。

施策	施策の内容
【その1】 移動環境の向上等	交通バリアフリーの推進 主要生活道路・主要区画道路の整備の推進 お店の商品や置き看板等の路上へのはみ出しに対する啓発指導など
【その2】 自転車の安全利用の推進等	「目黒区自転車の安全な利用の促進に関する条例」の取組 自転車交通ルールの周知啓発 放置自転車の撤去活動の継続 自転車ナビマークなど自転車走行環境の整備 自転車シェアリングのサイクルポート適地確保など

#### その1 移動環境の向上等

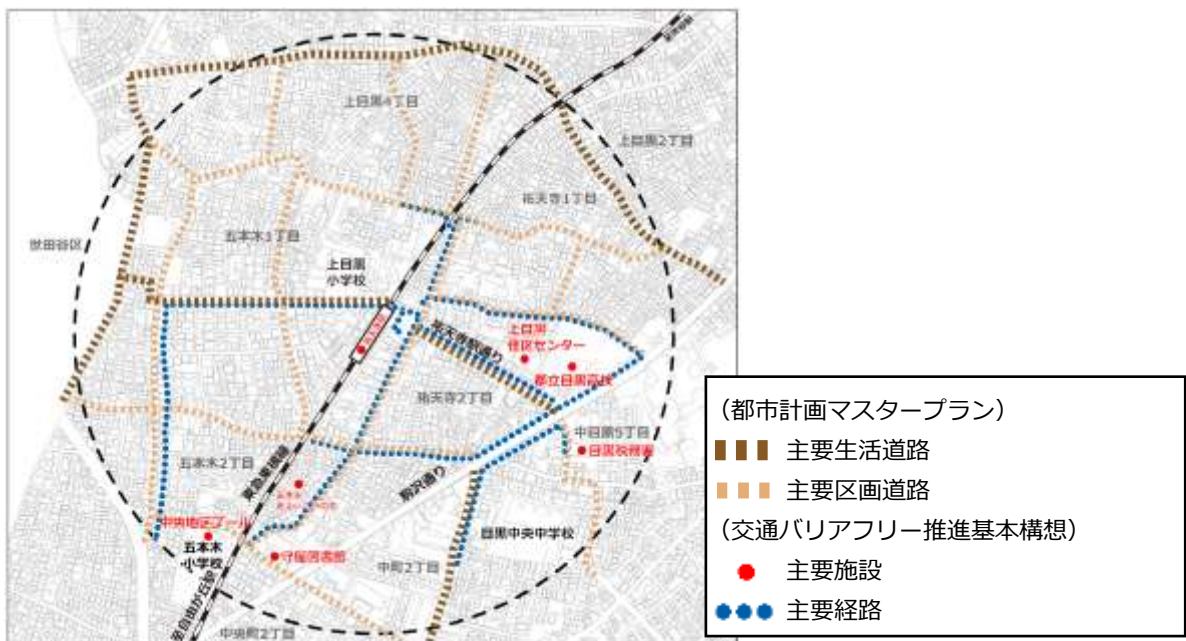
「都市計画マスタープラン」における道路の体系的な整備に基づき、主要生活道路・主要区画道路を整備します。これらの道路で狭い道路となっている路線は、整備を促進します。

「目黒区交通バリアフリー推進基本構想」に基づき、子どもや高齢者、障害のある人などが利用する施設と施設間の経路においてバリアフリー化を推進します。

歩行等の支障となる、お店の商品や置き看板等の路上はみ出しは、区や警察、地元商店会と連携して啓発指導を行い、誰もが安全に移動できる環境に整備します。

また、商店会が中心となり、商店街の活性化やルール等について話し合っていきます。

#### 主要生活道路・主要区画道路、主要施設・主要経路



## その2 自転車の安全利用の推進等

自転車が安全に走行できるよう、自転車走行環境整備計画に基づき、自転車ナビマークなどの自転車走行環境の整備を推進します。

自転車利用者には、条例による自転車保険加入の義務とヘルメット着用の努力義務について、守られるよう周知します。

また、歩行者と自転車利用者の接触事故等を減らすために、放置自転車の撤去活動の継続や駐輪場の利便性向上、商店街利用者の駐輪スペースの確保等を進めます。

自転車のシェアリングは、中目黒駅周辺・学芸大学駅周辺などの周辺地域との連携が容易になることから、サイクルポートの適地を確保していきます。

### 「自転車走行環境整備計画」における優先整備路線・その他の路線と自転車利用が多いと考えられる施設



- 優先整備路線
- - - その他の路線
- ★ 自転車利用が多いと考えられる施設 (令和3年3月時点)

目黒区自転車走行環境整備計画 (平成30年3月)

【整備スケジュール】

■：ハード事業 ○：ソフト事業 ★：交通バリアフリー推進事業

	施策の内容	取組主体	年度							
			R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
① 祐天寺駅前ロータリーを居心地が良い広場にする	■駅前広場の再整備（★）	区 民間事業者 交通事業者 区民 警察 商店会	基本計画づくり			社会実験・設計工事				
	■花壇やベンチなど憩いのスペースの整備（★）		整備							
	○イベント等の利活用の推進		利活用の検討		管理運営の検討					
	○駅ビルや広場周辺建物の1階部分と駅前広場の連続性確保		関係者との調整		駅前広場整備に合わせた取組実施					
	○駅高架下道路についての検討（★）		検討							
	○交番の場所を分かりやすくする対策（★）		サイン等の設置		駅前広場整備計画に合わせた検討・調整					
	○祐天寺駅前トイレ環境の検討（★）		区 民間事業者	検討、対策実施						
	○ポイ捨て禁止のマナー向上や受動喫煙防止対策を徹底した喫煙環境の検討		区 民間事業者 区民	検討、取組実施						
② 祐天寺駅通りを安全で快適に歩ける道路にする	【その1】バス交通の検討（★）									
	○バスの同時走行の回避の方策（★）	区 交通事業者	検討・調整							
	○バスの小型化などの検討（★）	区 交通事業者 区民 警察	検討・調整							
	【その2】地域街づくりルールによる沿道建物の建替えに合わせた歩行空間の確保（★）									
	○地域街づくりルール（沿道建物の壁面後退）による歩行空間の確保（★）	区 民間事業者 区民	手法等検討 関係住民との合意形成		ルールづくり					
	【その3】無電柱化の具体化（★）									
■○地域街づくり条例を活用した無電柱化に向けた検討（★）	区 民間事業者 区民	地域街づくり条例を活用した検討								

■：ハード事業 ○：ソフト事業 ★：交通バリアフリー推進事業

	施策の内容	取組主体	年度								
			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
③ 祐天寺駅前広場を起点とした歩いて楽しめる街にする	【その1】まち歩きルートの設定 (★)										
	○祐天寺駅前広場を起点とした明頭山祐天寺などの地域の歴史的資源や新しい魅力を伝えるまち歩きルートの検討 (★)	区 民間事業者 区民	意見交換	・	地区の宝探し	・	ルート検討				
	【その2】PR・広報・イベント等の情報発信										
	■○パンフレットや案内マップの作成・設置 (★)	区 民間事業者 交通事業者 区民			検討			作成・設置			
	○まち歩きルートに関連したイベントの実施・情報発信	民間事業者 区民			イベントの実施			情報発信			
	○ホームページやパンフレット等での地域資源等の情報発信	区 民間事業者 区民			地域資源の情報発信						
	○公衆無線LANの整備やまち歩きに役立つアプリ充実 (★)	区 民間事業者			検討、対策実施						
	○町会・自治会、住区住民会議、商店会などとの連携強化	区 民間事業者 交通事業者 区民			取組の継続						
	○地域活性化に資する空き店舗の活用検討	区民			検討、対策実施						
	○若手や女性の新規出店等の支援	都 区			支援制度の周知強化			活用			
	【その3】商店街を中心とした街並み景観の向上										
	○良好な沿道街並み景観形成のための、ルールづくりの推進（地域街づくりルール、地区計画、景観協定、デザインガイドの作成など）	区 民間事業者 区民	地域街づくり条例を活用した検討					ルールづくり			
	【その4】ルート上の施設整備 (★)										
	■○サイン計画の検討 (★)	区 民間事業者 区民	まち歩き設置場所等の検討					設計・整備			
	■ベンチ等休憩スペースの設置 (★)	区 民間事業者	まち歩き設置場所等の検討					設計・整備			



■：ハード事業 ○：ソフト事業 ★：交通バリアフリー推進事業

	施策の内容	取組 主体	年度							
			R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
④ 安全に移動できる街にする	【その1】移動環境の向上等（★）									
	■交通バリアフリーの推進（★）	区	整備内容	検討			設計・整備			
	■主要生活道路・主要区画道路の整備の推進（★）	区			整備箇所	検討、整備				
	○交通の支障となる、お店の商品や置き看板等の路上へのはみ出しに対する啓発指導（★） ○商店街の活性化やルールの検討	区 民間事業者 区民 警察 商店会				取組の継続				
	■通学路等における交通安全対策のさらなる推進（★）	区 区民 警察				取組の継続				
	■道路等の計画的な維持管理（★）	区				取組の継続				
	○需要に沿った自動二輪（バイク）の駐車スペースの確保（★）	区				検討、取組実施				
	【その2】自転車の安全利用の推進等									
	■自転車ナビマークなど自転車走行環境の整備（★）	区						整備		
	■○自転車シェアリングのサイクルレポートの適地確保	区		確保、整備						
	○駐輪場の利便性向上（区ホームページ等による駐輪場位置等の情報発信の継続、多言語化などの検討）	区 民間事業者				取組実施				
	○自転車利用者のルールの遵守と交通ルールの周知（★）	区 区民 警察				取組の継続				
	○放置自転車の状況に応じた撤去活動（★）	区 区民 民間事業者				取組の継続				
	○買物客等の駐輪場の短時間駐輪への対応の継続（★）	区 区民 商店会				取組の継続				
	■通学路等における交通安全対策のさらなる推進（再掲）（★）	区 区民 警察				取組の継続				
	○店舗等の利用者駐輪場の設置検討（★）	民間事業者				検討、設置				
	○駅前放置自転車クリーンキャンペーンの継続と住民参加の推進（★）	区 交通事業者 区民				活動の継続				